

5. 2020年の活動報告

①・千葉県のボランティア参加促進事業を中心に活動した のべ229名が参加

	日時	場所	参加者数	内容
第1回	7月5日	サンプラザ市原	40名	キックオフ
第2回	8月8日	市原市下矢田 ※1	38名	森林セラピー
第3回	9月20日	市原市下矢田 ※1	46名	竹林整備
第4回	9月27日	勝浦市 ※2	50名	シンポジウム
第5回	10月17日	市原市下矢田 ※1	24名	芋ほり
第6回	11月22日	市原市下矢田 ※1	40名	竹林整備
第7回	12月19日	大多喜町湯倉	31名	竹林整備
第8回	1月予定	勝浦市 ※3	中止	ひな祭り準備

※1 市原市下矢田、ソーラーシェアリング上総鶴舞

※2 勝浦市沢倉 勝浦市芸術文化交流センター・キュステ (定員 50 名で開催)

※3 勝浦市が、ビッグひな祭りを中止したため

- ② ちばコラボ大賞（千葉県知事表彰）受賞
- ③ 千葉県主催 令和2年度バイオマス利活用研修会にて講師を務める
高澤・杉浦
- ④ 2012年3月7日 千葉県主催 SDG s時代のパートナーシップ zoom参加
高澤・高橋
- ⑤ 2021年3月17日 協働によるコミュニティづくりの普及・促進事業セミナー
事例発表を行う。高澤
- ⑥ 緑の募金事業の助成により、薪割り機を購入。竹林整備に合わせて薪作りを行った
- ⑦ 国産メンマプロジェクトの成果として、原料のタケノコ約1 tを納品
房の駅では、約1万食を販売した。7月から3か月で売り切れた
- ⑧ NPO農都会議と共催で、zoomの勉強会を実施
テーマは「カーボン貯留とJ-クレジット」農研機構、須藤重人研究員の講演
竹もりの里・鹿嶋代表、北総クルベジの喜屋武氏なども参加して今後の展望を探った
- ⑨ 2021年広報いちほら5月号（巻頭SDG s特集）に、ちば里山・バイオマス協議会の活動が紹介される。
- ⑩ 2021年6月、千葉県立大多喜高校で「総合的な探求の時間・地域探求」の出前講座を実施
高澤・山本哲也
- ⑪ 2021年7月、朝日新聞より国産メンマプロジェクトについて取材を受ける。
7月19日の朝刊に掲載予定。